

高松学習館運営協議会（令和6年4月）会議録概要

開催日時 令和6年4月11日（木曜日）午後6時30分～8時20分

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 神山敬章（明星大学名誉教授）

吉田理恵（立川市社会福祉協議会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

川合博（高松児童館）

栗原政子（学習館利用団体）

難波敦子（学習館利用団体）

欠席5名

[事務局] 榛澤尚武（高松学習館係長）、三友暁子（高松学習館職員）、

富田瑞代（会計年度職員）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 会長あいさつ 今晚は。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。新年度ニューフェイスでどんどん変わっていく。何でも聞いていただいて新しいメンバーの方から新しい意見を積極的に出していただきたい。

2. 報告事項

・事務局より下記について報告があった。

・ 人事異動について

新任の高松児童館・川合館長、高松学習館・三友職員の紹介があった。

新年度より第3地区担当になられた立川市社会福祉協議会（地域福祉コーディネーター）・丸山職員の紹介があった。各委員より自己紹介がなされた。

・ たかまつり文化祭（作品展・演奏会）第2回準備会について（4/18・4/19）

3月の第1回準備会の内容について報告があった。作品展の方は参加するサークルの出展内容、会場レイアウト、当番などについて確認した。

演奏会の方は当日の役割分担、リハーサル、出演順などの確認をした。

今年度はふりかえりを作品展と演奏会参加サークル合同で実施する予定。

作品展と演奏会の一体化に向け新たな仕掛けを進めている。作品展初日にオープニングセレモニーを開催し、演奏会サークルから紹介していただいたボランティアの方の演奏により電子ピアノの披露をしてくださることになっている。第2回準備会で作品展サークルの皆さんに提案していくことになっている。児童館や地域福祉コーディネーターさんの協力もいただきながらコラボして活性化していきたい。

・ 高松寿教室開講式（4/10実施）について 栗原寿委員長より報告があった。

会員54名で新年度スタートし、5月に新役員会を開催する。

開講式は参加者が減少するので役員会で検討していきたい。

- ・ その他

団体企画型講座について

「安心安全にパソコンとインターネットを楽しむ」は初日 4/10 で定員に達した。「マジック初心者講習会」は 5/10 より受付開始する。「立川郷土史を講座で学び中世の立川(多摩)を探ろう」は都合により中止となった。

3. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

(2) たかまつり文化祭について

- ・ 令和 6 年度作品展ワークショップについて

昨年度の実施内容を参考にしながら今年度の企画内容について協議した。

- ・ 千代紙人形しおりづくりに替わって新しく簡単にできるワークショップについて難波委員から市民リーダーさんに打診していただく。
 - ・ 児童館の方でプラ板づくりまたは類似の工作コーナーについて検討していただく。
 - ・ 昨年度に倣い、地域福祉コーディネーターの方で地域活動紹介展示や相談コーナーの設置について検討していただく。
 - ・ くるりん、ポップコーン、スタンプラリーは好評だったので今年度も実施する。参加団体からも奥まで来場者が来てくれて良かったというお声があった。
 - ・ のぼり旗の設置、オープニングセレモニーの P R をする
 - ・ 作品展パンフレットの挨拶文などについては刷新する。
 - ・ 地運協の紹介で委員の集合で写真に委員からのメッセージを添えたらどうかという意見があった。
 - ・ 市民リーダーの紹介パネル展示を手配する。
 - ・ 作品展サークルの P R は代表作品展示をするエレベーターホールにサークル紹介の紙を自由に持ち帰りできるように準備するのはどうか。
- サークルによっては展示場所で少し体験できるようなことを準備したらどうかという意見があった。出展者と来場者との交流につながることになるので第 2 回準備会でサークルに提案する。
- ・ 受付で来場者にスタンプラリーとアンケート(竹の子の形を変えて感想を書いてもらえるよう表示する)を渡して奥の実習室でポップコーンと交換する流れで行う。
 - ・ 次回会議までに各委員で進捗があれば事務局まで連絡をしていただく。

(3) 地域活性化事業について

- ・ 令和 6 年度地域活性化事業（案）について

- ・ ネイルケア講座について 7/4(木)午前に実施予定、保育付

講師とのうち合わせを元に作成の企画書案と広報原稿案について協議し承認された。

- ・ 東京学芸大学との連携講座について

学芸大の倉持先生と事務局のうち合わせを元に事業開催日程、学生さん

とのうち合わせ等、今後のスケジュールについて説明があった。

4/25 に梅田会長、難波副会長、事務局で学芸大に伺い顔合わせをする。
たかまつり事業の開催日は 11/23(祝・土)、学生さんが来館してうち合わせするのは 7/13(土)午前ということで倉持先生に依頼する。

併せて、学生さんに 6/2(日)作品展へ来場のお声がけもお願いしている。

- ・ オンライン講座の実施について ひき続き、アイデアを募りながら検討していくことになった。

講座の内容により、教養講座で講演と映像中心なのか、または手元を映して自宅で実習してもらえるような内容など、様々な形が考えられる。

例えば、落語（音声中心）を楽しんでもらうこともできる。

オンラインは一方通行でなく、インターラクティブ、キャッチボールできるという特徴を活かすことも考えられる。

最初からあまりハードルを上げないで技術面も少しずつ慣れていく方がいいというアドバイスがあった。

先々には当日聴けなかった人に録音録画した CD を貸し出す、YouTube で流すなど様々な方法も考えられる。学習館に来られない方や講座の時間帯は都合がつかない方も活用していただけることもある。

- ・ 第 7 期報告書について

事務局作成の報告書(案)に目を通していただき、次回会議までにお気づきの点があれば事務局まで連絡いただきたい。

(4) その他

- ・ 学校だより 前回から更新された号を配布
- ・ 次回の会議開催日について確認した。

4. 地域課題共有 委員より本日の感想や所属団体の活動について報告があった。

- ・ 児童館

5/5 子どもの日にイベントを開催する。高松児童館 40 周年にあたり、ゴールデンウィークスペシャルで外国の食べ物を作ったり、ゲームをする予定。

- ・ 社会福祉協議会

利用サークルとの出会いや学生さんの企画を楽しみにしている。

地域のイベントで子どもや親子の参加を期待している。

地域の拠点として地域福祉アンテナショップ（気軽に来たり、情報交換、相談できる場）をこの地域にも作っていききたいので今後皆様のご協力をいただきたい。

以上